

太田川河川事務所
記者発表・配布資料

記者発表資料

令和8年 4月 9日

■ 同時発表先 : 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

出水に備え河川管理施設の点検を行います！ ～ 出水期前点検 ～

太田川河川事務所では毎年、梅雨及び台風などの出水に備えて、堤防の決壊等を未然に防ぐため、堤防や護岸・樋門などの河川管理施設に異常がないか目視で点検する「出水期前点検」を職員等により行っております。（概要は【別添1】）

今年度は4月16日に大芝出張所管内から開始します。その後、他の出張所管内についても順次点検を行っていきます。

点検では河川維持管理業務に資するシステムであるRiMaDIS（（リマディス）（タブレット端末））を活用した点検を実施します。（概要は【別添2】）

点検日時 : 令和8年4月16日（木）～令和8年4月21日（火）

点検箇所 : 太田川及び小瀬川の国管理区間

※取材につきましては4月16日（木）13時30分より 太田川放水路河川敷（広島県広島市西区新庄町4 別紙ルート図参照）の場所以対します。

なお、取材を希望される方は4月15日（水）12時までに下記問合せ先へ御連絡をお願いします。天候不良等により中止する場合がありますので、そのときには連絡させていただきます。

<問い合わせ先>



太田川
シンボルマーク

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

TEL 082-222-9248 (管理課 直通)

副 所 長(管理) 村上 友章

【担当】管 理 課 長 三輪 潤平

目的

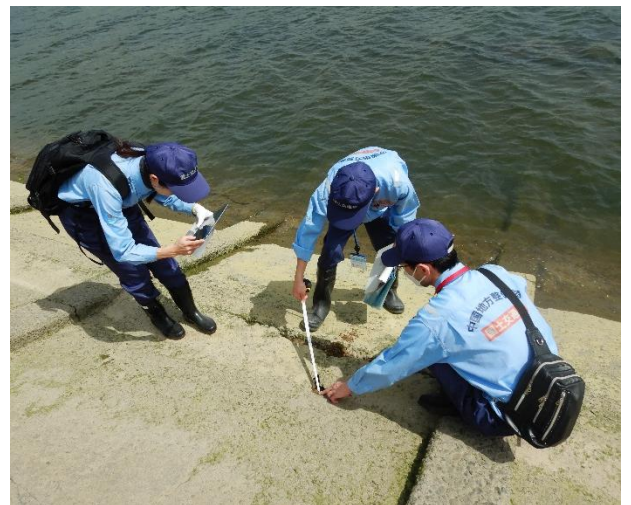
洪水や高潮から住民の生命・財産を守るため、河川管理施設（堤防や護岸、樋門など）の変状（ひび割れ、沈下、空洞など）を早期に発見・把握し、治水機能を確保・維持すること。

方法

目視による点検

点検項目

堤防の亀裂、陥没、法面の崩れ、漏水、護岸や樋門等の損傷など、構造的な健全性を確認



●RiMaDIS(リマディス)とは

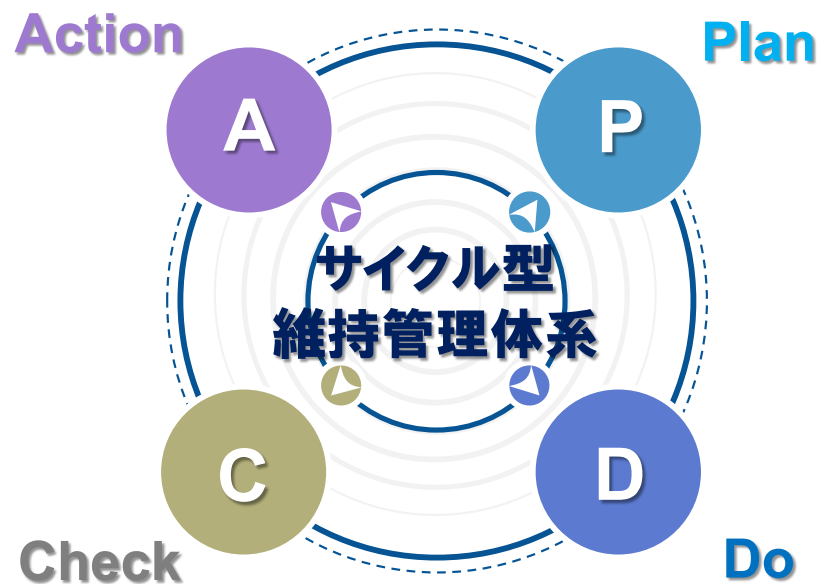
RiMaDIS = River Management Data Intelligent Systemの略称



河川維持管理業務を支援する仕組みである河川維持管理DBシステムの
全国統一版をRiMaDISと呼ぶ。

●RiMaDISの目的

- ① 河川維持管理の現場における河川維持管理業務を**着実に、かつ効率的に行うための業務支援**。
- ② 現場での河川維持管理のPDCAサイクルによる**スパイラルアップの支援**、及びこれに基づく**技術基準やマニュアル類の充実**など、業務の高度化のための**知見の効率的な集積**。
- ③ 河川維持管理の政策の企画立案に資する基礎的な**情報収集の効率化と適切な管理**。



RiMaDISの概要

●RiMaDISの導入により期待される効果

現場

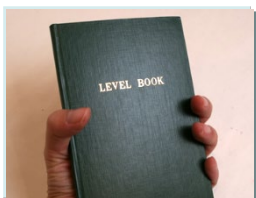
タブレットの導入により、現場監視行為を効率化・高度化

- ① 地図の活用やGPSによって位置情報を把握しながら、的確な周辺状況把握。
- ② 過去の記録や記録項目、関連情報を確認しながら、的確な現場記録を支援。
- ③ 記録と関連付けて写真を撮影。取得データをもとに簡易に日報等を作成。

事務所 出張所

維持管理に係るデータの一元管理により、所内の日常業務を効率化・高度化

- ① 台帳や河川カルテを共有化。蓄積したデータをもとに随時更新が可能。
- ② 適宜分析・評価を実施。河川管理レポート等のとりまとめや意思決定を支援。
- ③ 日常業務に係るデータを簡易に検索・確認。探しものに要する時間を軽減。



現場



事務所・出張所

RiMa
DIS
導入



現場



事務所・出張所

○出水期前点検とは？

出水期に備えて、堤防等河川構造物の点検を行うことで、堤防に異常がないかどうか確認します。異常が確認された場合は、速やかに処置を行います。

※堤防、護岸等の点検は、太田川及び市内派川(天満川、旧太田川、元安川)、支川(古川、根谷川、三篠川、滝山川)、小瀬川の国管理区間を対象に実施します。

(国管理区間：太田川 129.37km、小瀬川 13.4km)

※太田川の出水期は6月11日～10月25日、小瀬川は6月16日～10月15日です。

取材可能箇所

○16日点検参加者

点検は、太田川河川事務所職員及び河川技術資格保有 5名で実施する予定です。

○16日の点検は、以下のルートで実施します。



※駐車は新庄橋下流の高水敷駐車場をお願いします。

※点検箇所が点在しているため、徒歩で移動予定です。